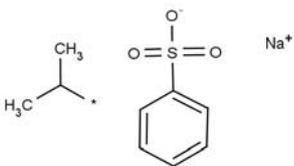


物質名	ナトリウム=イソプロピルベンゼンスルホナート		DB-29													
別名	クメンスルホン酸ナトリウム、 (1-メチルエチル)ベンゼンスルホン酸ナトリウム	構造式 														
CAS番号	28348-53-0															
PRTR番号	—															
化審法番号	—															
分子式	C <sub>9</sub> H <sub>11</sub> NaO <sub>3</sub> S	分子量	222.24													
沸点	549℃ (推定値) <sup>1)</sup>	融点	236℃ (推定値) <sup>1)</sup>													
蒸気圧	1.09×10 <sup>-9</sup> mmHg (推定値) <sup>1)</sup>	換算係数	1 ppm = 9.09 mg/m <sup>3</sup> (25℃)													
分配係数 (log P <sub>ow</sub> )	-1.5 (推定値) <sup>1)</sup>	水溶性	自由混和 <sup>1)</sup>													
<b>急性毒性</b>																
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>動物種</th> <th>経路</th> <th colspan="2">致死量、中毒量等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラット</td> <td>経口</td> <td>LD<sub>50</sub></td> <td>&gt; 7,000 mg/kg<sup>1)</sup></td> </tr> <tr> <td>ラット</td> <td>吸入</td> <td>LC<sub>50</sub></td> <td>&gt; 770,000 mg/m<sup>3 1)</sup></td> </tr> </tbody> </table>					動物種	経路	致死量、中毒量等		ラット	経口	LD <sub>50</sub>	> 7,000 mg/kg <sup>1)</sup>	ラット	吸入	LC <sub>50</sub>	> 770,000 mg/m <sup>3 1)</sup>
動物種	経路	致死量、中毒量等														
ラット	経口	LD <sub>50</sub>	> 7,000 mg/kg <sup>1)</sup>													
ラット	吸入	LC <sub>50</sub>	> 770,000 mg/m <sup>3 1)</sup>													
<b>中、長期毒性</b>																
<ul style="list-style-type: none"> <li>ラットに0、0.005、0.05、0.5%の濃度で13週間混餌投与(雄で0、1.1、11、114 mg/kg/day、雌で0、1.5、15、159 mg/kg/day 相当)した結果、0.5%群の雌で体重増加の抑制を認めたとの報告<sup>2)</sup>があるが、対照群を含む全群で肺炎が発生したことが報告されていることから、本知見の信頼性は低いと考えられる。</li> <li>ラットに0、400、800、1,200 mg/kg/day を90日間飲水投与した結果、800 mg/kg/day 以上の群の雄で体重増加の抑制、1,200 mg/kg/day 群の雄で腎臓重量の増加を認めたと<sup>3)</sup>。この結果から、NOAELを400 mg/kg/day とする。</li> </ul>																
<b>生殖・発生毒性</b>																
<ul style="list-style-type: none"> <li>ラットに0、0.005、0.05、0.5%の濃度で13週間混餌投与(雄で0、1.1、11、114 mg/kg/day、雌で0、1.5、15、159 mg/kg/day 相当)した結果、雄では、0.5%群で精細管の重度の萎縮及び変性、0.05%群でも軽度ではあるが同様の病変が剖検したラットでみられたとの報告<sup>2)</sup>があるが、対照群を含む全群で肺炎が発生したことが報告されていることから、信頼性は低いと考えられる。</li> </ul>																
<b>ヒトへの影響</b>																
情報は得られなかった。																
<b>発がん性</b>																
IARCの発がん性評価：評価されていない																
<b>許容濃度</b>																
ACGIH		—														
日本産業衛生学会		—														
<b>暫定無毒性量等の設定</b>																

経口ばく露については、ラットの中・長期毒性試験から得られた NOAEL 400 mg/kg/day (体重増加の抑制) を採用し、試験期間が短いことから 10 で除した 40 mg/kg/day を暫定無毒性量等に設定する。なお、ラットの精細管への影響がみられたとの報告があるが、信頼性が低いと考えられたため、暫定無毒性量等には採用しなかった。

吸入ばく露について、暫定無毒性量等は設定できなかった。

#### 引用文献

- 1) SRC's EPIWIN Estimation Software. EPI Suite Version 3.11 (June 10, 2003). KowWin vol. 67. (<http://www.epa.gov/oppt/exposure/docs/episuitel.htm>)
- 2) The Procter & Gamble Company (1968): 91-Day rat feeding study. Vol. 2781: 1. Cited in OECD (2005): SIDS Initial Assessment Report for SIAM 21. Hydrotropes. Cas No: 1300-72-7, 12068-03-0, 26447-10-9, 28348-53-0, 32073-22-6, 37475-88-0.
- 3) Huels (1984): Primary data elaborated in Huels Report No. OW 90d-003. Unpublished report. Cited in: IUCLID (International Uniform Chemical Information Data Base) Data Set. Year 2000 CD-Rom edition.